

ることは未だ出来ないが、前記の事實と高宗武の過去の閱歴よりして汪は調印しなかつたものと一般に信じられてゐる。

## 二重 慶 報

今朝の支那新聞は全部大見出をつけ、上海で汪精衛と日本軍當局との間に調印された協定の全文を掲載してゐる。各紙は又本件に關する特別論説を掲げ、一樣に汪精衛を非難し、日本側要求の苛酷さと廣汎なることに對して恐慌を示してゐる。この條件を批評し支那軍機關紙の「掃蕩報」は「支那として武力抗戦以外に道なきことをあらゆる支那人の腦裡に刻みつけたことは疑ひない」と述べ、この協定が支那全土のみならず極東より外國の權益を驅逐せんとする日本の意圖を實行するためのものである事實に對し列國の注意を喚起してゐる。中國共產黨機關紙の「新華日報」は汪精衛をこき下し、抗戦方針を擁護し、同時に（協定を暴露した）高宗武、陶希聖をはじめ、合理的な和平條件によつて日本との協定に到達し得ると信じてゐる者すべてを排撃してゐる。尤も有力日刊紙の「大公報」は高宗武、陶希聖の協定暴露に感謝を示し、彼等が態度を改め支那政府のために盡力することを希望してゐる。

## 内閣情報部一・二六 情報第七號

一 四川日本語放送（二十四日）——（東京都市通信局轉取）

（妨害電波のため内容殆ど不明）

一 昨年汪兆銘と共に重慶を脱出し終始汪の行動を共にし政權樹立のために活動し日本軍要人とも會見した高宗武、陶希聖が上海を脱出香港に出て持出した重要書類を發表して非常なセンセーションを起して居ります。之は昨年十二月三十日汪が日本と和平協定に關し決定したもので本文は四ヶ條付屬條文をも含み十一月五日、上海の六三國で周佛海が執筆し東京に携行したものであります。その内容は事變繼續中特殊事態の繼續を認め日滿支三國が東亞新秩序建設の理想の下に結合し國防上經濟上提携し揚子江下流に於て經濟的特殊地位を設定すること、滿洲國を承認し日滿支三國は政治に外交に教育に緊密なる統制を行ふこと、又日滿支の三國は經濟提携をなし共同防共に當り共産分子を除去し防共の情報蒐集宣傳に協力すること、このために蒙疆に兵を駐屯すること、日滿支防共軍事同盟を締結すること、揚子江下流の治安維持のため日本艦船を常置すること、（以下妨害電波のため不明）



内閣情報部一・三六 情報第八號

一ツエーゼン獨語放送(二十四日) (東京都市遞信局聴取)

一、淺間丸事件は獨逸各紙に大々的に取扱はれてゐるが昨日廿三日の閣議に於ても今後の對策に就て重大協議が行はれ、日本が對英嚴重抗議を發し、廿一名の獨逸人返還要求權を留保したる事及今後の方針に各閣僚の意見の一致を見たる事等、凡て日本の適切なる措置に信賴の意を表してゐる。

一、英國北東部近海で白耳義船が沈没した、英貨物船バルタングリア號一五二〇トン及諾威船プラト一號は英國西北岸で觸雷沈没、乗組員は救助せらる。尙英國の曳船バルドラ號は原因不明の沈没、更に英國驅逐艦エクスマス號も撃沈された。

一、英國は獨逸がソ軍援助の爲可成りの大部隊を芬蘭に派遣したかの如きデマを放送してゐるが全く事實無根の英國の卑劣な宣傳である

一、白耳義は物におびえた如く兵を國境に集中して世界の耳目を惹いたが獨逸に何等侵犯の意圖なき事をしり再び靜穩を取戻した、英佛の白鬮を參戰せしめんとする魂膽の煽動が又も失敗に關した譯である

一、更に英國は南阿に於て獨逸は野蠻なりとの捏造宣傳を開始せる處、却つて南阿人民の反感